

審 議 経 過

No.

1. 開会

2. あいさつ

3. 伊万里市民と考える地域交通会議について（概要説明）

【意見】

委員：今後の計画の中で交通計画策定を委託するにあたり、コンサルタント選定にあたっては、十分な検討をお願いしたい。他の交通会議に委員で入っているが、コンサルに提案されたものを導入したが経費が嵩み、必要性についても疑問を感じる案件があったので、意見した。

事務局：令和5年5月からの作業工程としては、交通計画を策定するにあたって、プロポーザル方式によってコンサルを選定する。その後随時この交通会議において、進捗を説明しご意見を頂きながら、進めていく予定。

4. 議事

（1）役員の選出について

※事務局より説明→承認

副会長 伊万里地区町会連合会 田中委員。

監事 伊万里市老人クラブ連合会 池田委員、伊万里市社会福祉協議会 中野委員

（2）自家用有償旅客運送の更新登録申請について

※事務局より説明→承認

【質疑応答】

Q：今回更新を行うくろがわ号の車両について、足の不自由な方でも、乗車できるステップなどのバリアフリー化はされているのか。路線バスはどうか。

A：自家用有償運送の車両については、自動ドアが開いた時に、下の方からステップが出てくるような形になっており、対応できている。また、そのほかの2地区の自家用有償旅客運送車両においては、対応車両ではないため、必要に応じて都度運転手が介助している。今後の車両更新があった場合には利用者にやさしい車両を考慮する必要があると考える。

路線バスについては、対応中である。現在全体の7割の車両がバリアフリー対応となっている。車両が高額であり一度に全部行うのは難しいため、更新計画に基づき随時更新を行っている。

5. 報告事項

（1）「グリーンスローモビリティ」のテスト運行について

※シティプロモーション推進課より説明

【質疑応答】

Q：観光客向けなのか。

A：お見込みのとおり。まず観光客に向けての取り組みを進めていきたい。ボランティアガイド等も組織化されているので、その方達の活用も含めて検討を進めていきたい。

Q：予約が必要か。

A：まだ詳細は決まっていない。まず週末等に運行してみて、その時に利用してみたい方々、利用してみたい観光客の方々に乗っていただき、今回の検証を進めていけたらと考えている。

Q：集落支援員の活用について。

A：この取り組みを長く続けるにあたっては、運転手やガイドの確保等の課題がおそらく出てくるもの思っており、この大川内山のみならず、大川内町全体の今後の地域課題の解決に向けた取り組みをサポートする集落支援員の活用も一つの案と考えており、今後協議検討しながら、詰めていきたい。

6. その他

7. 閉会

※主な発言の要旨等、審議経過がわかるように記載すること。